



知識と経験を活かした CFP®認定者のアドバイスは立派な価値

しょうじ いさお
荘司 佳勲氏, CFP® (アメリカ)

TSG Advice Partners, LLC マネージング・パートナー

米国の生活者が金融サービスについて調べると、至るところで「ファイナンシャル・プランナー (FP) と契約するなら必ず CFP®資格を持ったアドバイザーを選ぶように」というようなアドバイスが目飛び込んできます。そのため、プランニングに携わる人間として、CFP®資格の取得は私にとってごく自然なステップでした。米国では、ある程度の金融リテラシーを持っている層の中での CFP®資格の知名度はかなり高く、一人前の FP となるために CFP®資格を取得するのは、当然の目標といえるでしょう。

金融リテラシーが高い人は、高品質で顧客本位のアドバイスが得られるのであれば、相応の対価の支払いは当然ということに気付くものです。弁護士や会計士などの士業においては、アドバイスは十分価値があるというのも事実です。日本の FP の皆さんには、自身の知識と経験を活かした価値あるアドバイスを引き続き提供していただきたいと思います。